サポート情報記事

QR Code Generator のプライバシーとセキュリティ：データが処理および保存される場所

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

管理者向けの概要 4

コードはブラウザー内で生成される 4

ソリューションのアクセス許可 5

ユーザーに必要なもの 5

保存された構成の格納場所 5

Vitextra のサービスへの要求 6

QR コードの中身 7

推奨事項 8

まとめ 8

用語 9

はじめに

QR コードには、社内リンク、電話番号、ゲスト ネットワークのパスワードなど、社外に出すべきではないデータが含まれることがよくあります。こうしたコードを扱うツールをイントラネットで許可する前に、管理者は、そのデータがどこに送られるのかを知りたいと考えます。この記事では、QR Code Generator について、この疑問に答えます。コードがどこで作成されるのか、ソリューションに何が許可されているのか、入力したデータがどこに保存されるのか、Web パーツがテナントの外部にどのような要求を送信するのかを説明します。

管理者向けの概要

質問	回答
QR コードはどこで生成されますか?	ユーザーのブラウザー内
エンコードされたデータは、Vitextra または第三者に送信されますか?	いいえ
パッケージはどの API アクセス許可を要求しますか?	なし
Web パーツは、**SharePoint** のリスト、ファイル、ユーザー プロファイルを読み取りますか?	いいえ
保存された構成はどこに格納されますか?	SharePoint ページ内の、Web パーツのプロパティ
保存された構成を読み取れるのは誰ですか?	ページを開くことができるすべてのユーザー
Vitextra のサービスには何が送信されますか?	ライセンスの確認と使用状況テレメトリのための技術的な識別子。コードの内容は送信されません

コードはブラウザー内で生成される

Web パーツは、ブラウザー内で実行されるスクリプトを使用して、入力された

データを QR コードに変換します。フィールドのデータがエンコードのためにサーバーに送信されることはなく、画像はユーザーのデバイス上で描画されます。**ダウンロード**と**コピー**もブラウザー内で動作します。ファイルはローカルで作成され、ダウンロード フォルダーまたはクリップボードに送られます。

ソリューションのアクセス許可

QR Code Generator は、アプリ カタログから展開される SharePoint Framework Web パーツです。

- パッケージは **API アクセス許可を要求しません**。SharePoint 管理センターの **API アクセス** ページに承認する項目は表示されず、Web パーツが **Microsoft Graph** を呼び出すこともありません。
- Web パーツは、**リスト**、ライブラリ、ファイル、ユーザー プロファイルの読み取りも変更も行いません。ページから取得するのは、**URL** フィールドにあらかじめ入力するための、現在のサイトのアドレスだけです。
- アップロードしたロゴは、ライブラリには保存されません。Web パーツの構成の中に保持されます。

ユーザーに必要なもの

タスク	必要なアクセス許可
パッケージをアプリ カタログにアップロードする	SharePoint 管理者、またはアプリ カタログの所有者
Web パーツをページに追加する、用意したコードを保存する	ページの編集アクセス許可
用意したコードを表示する、コードを作成、コピー、ダウンロードする	ページの閲覧アクセス許可

保存された構成の格納場所

Web パーツのあるページを編集して保存すると、ジェネレーターの構成全体がページと一緒に保存されます。保存されるのは、すべてのデータ タブのフィールドの値、デザイン、ロゴ、サイズです。技術的には、これは Web パーツのプロパティの 1 つであり、サイトの **Site Pages** (サイトのページ) ライブラリにあるページの中に格納されます。

このことから、次の 3 つの点に注意が必要です。

データはプレーン テキストとして格納されます。 構成は暗号化されません。**Wi-Fi** タブの**パスワード**を含め、フィールドは通常のテキストとしてコードの横に表示されます。

ページのアクセス許可が、そのままデータのアクセス許可になります。 ページを開くことができるユーザーは誰でも、Web パーツに保存されている内容をすべて読み取ることができます。Web パーツには、閲覧者に対してフィールドを非表示にする設定はありません。

以前のバージョンが保持されます。 SharePoint は、ページのバージョン履歴を保持します。Web パーツに保存され、後で置き換えられたパスワードは、ページの以前のバージョンに残り、バージョン履歴を表示できるユーザーが参照できます。

警告

社内ネットワークのパスワードやその他の機密情報を Web パーツに保存しないでください。Web パーツは、ページの対象ユーザー全員が知っていてよいデータに使用してください (従業員向けのページに掲載するゲスト ネットワークのパスワードなど)。

訪問者が、発行済みのページを編集せずに入力したデータは、どこにも保存されません。このデータは、ページを閉じるか再読み込みするまで、ブラウザーの中にだけ存在します。

Vitextra のサービスへの要求

Web パーツは、3 つの目的でテナント外部のサービスに接続します。どの要求にも、ジェネレーターに入力したデータや生成されたコードは含まれません。

目的	送信される内容	送信先
ライセンスの確認	テナント ID、**Microsoft Entra ID** のユーザー アカウントの ID、サイトのアドレス、製品の識別子、名前、バージョン	`vitextra.com`

目的	送信される内容	送信先
使用状況テレメトリ	Web パーツの読み込み時のイベント: 製品の名前とバージョン、サイトの ID とアドレス、ユーザー アカウントの ID、インターフェイスの言語、Web パーツが Teams で実行されているかどうか	Azure Application Insights
製品ファイルの読み込み	ファイルに対する通常の要求のみ: Web パーツのスクリプトとアイコンは、Vitextra のコンテンツ配信ネットワークからダウンロードされます	`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net`

これらの要求では、ユーザーは名前や電子メール　アドレスではなく、アカウントの ID (GUID) によって識別されます。

メモ

組織で送信接続を制限している場合は、上記のホストを許可してください。コンテンツ配信ネットワークにアクセスできないと、Web　パーツを読み込むことができません。Vitextra によるデータの処理については、プライバシー ポリシーで説明しています。

QR コードの中身

QR　コードは、いかなる方法でも保護されていません。コードにはデータそのものが含まれており、どのスキャナーでもその内容が表示されます。次の 3 点を覚えておいてください。

- パスワードを含むコードの機密性は、パスワードと同じです。コードの写真を　持っている人は、パスワードを持っていることになります。
- コードには有効期限がなく、取り消すこともできません。印刷したコードを無効

にするには、ネットワークのパスワードやページのアドレスなど、コードが指し示す先を変更します。
- 社内リンクを含むコードは、リンク先のページにアクセスできるユーザーに対してのみ開きます。コード自体から明らかになるのは、アドレスだけです。

推奨事項

1 機密性の高いデータを含むコードは、対象ユーザーがコードの対象ユーザーと一致しているページで公開し、公開する前にページのアクセス許可を確認してください。
2 **Wi-Fi** タブはゲスト ネットワークにのみ使用し、パスワードを変更したときはコードを更新してください。
3 発行する前に、使用しないタブのフィールドをクリアしてください。これらの値も保存されます。
4 リンクで十分な場合は、データそのものを含むコードではなく、**URL** タブで、保護されたページへのリンクを使用してください。

まとめ

QR Code Generator は、ブラウザー内でコードを作成し、API アクセス許可を必要とせず、SharePoint から何も読み取りません。入力したデータが保持される唯一の場所は、編集者がそのデータを保存したページであり、そこではデータはページと同じ範囲に公開されます。

ヒント

用意したコードがどのように保存され、ページの訪問者に何が表示されるかについては、KB10269. 構成済みの QR コードを SharePoint ページで公開するで説明しています。

用語

Microsoft Entra ID

Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

Microsoft Graph

Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

テナント

Microsoft 365 テナントは、Microsoft 365 サービスの専用インスタンスです。テナントには、ユーザーやドメイン (Microsoft Entra ID)、構成、サブスクリプション、サービスなど、組織の情報が保持されます。組織は、Microsoft 365 サービスにサインアップすることでテナントを受け取ります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。